

エコアクション21 環境活動レポート 2015



第13期

対象期間 2015年7月～2016年6月

発行日：2016年 8月26日

Techno-Tsukihoshi 

株式会社 テクノ月星



目次

組織の概要	3
認証・登録の対象範囲	3
環境方針	4
環境目標	5
環境活動計画	6
環境目標の実績	7～9
環境活動計画の取組結果と評価	10～11
来年度の環境活動取組みの計画	12
環境関連法規の確認並びに違反、訴訟等の有無	13
代表者による全体評価と見直しの結果	14

1. 組織の概要

(1)事業所名 代表者氏名	株式会社 テクノ月星 代表取締役 井上 定男									
(2)所在地	本 社 〒839-1498 福岡県うきは市浮羽町高見 215 番地									
(3)環境管理責任者 担当者連絡先	総務部 部長 樋口 勝範 TEL 0943-77-2141 総務部 工務課 石橋 誠二 TEL 0943-77-3020									
(4)事業の概要	工業用エラストマー製品の設計・開発及び製造 主要製品： ゴムガスケット、ゴムスリーブ、ゴムホースなど									
(5)事業の規模	総製品出荷額： 2,471百万円(平成2016年6月期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>本 社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>従業員数</td> <td>人</td> <td>172 人</td> </tr> <tr> <td>床面積</td> <td>m²</td> <td>26,824</td> </tr> </tbody> </table>		単位	本 社	従業員数	人	172 人	床面積	m ²	26,824
	単位	本 社								
従業員数	人	172 人								
床面積	m ²	26,824								
(6)事業年度	7月～翌年6月									
(7)法人設立年月日	2004年4月1日									
(8)資本金	90 百万円									

2. 認証・登録の範囲

(1)事業所名 所在地	株式会社 テクノ月星 〒839-1498 福岡県うきは市浮羽町高見 215 番地
(2)関連事業所	なし
(3)活動	工業用エラストマー製品の設計・開発及び製造



3. 環境方針

環 境 方 針

<環境理念>

株式会社テクノ月星は、工業用ゴム・樹脂製品の設計・開発、及び、製造・販売を通じて、地球環境への負荷を低減し、持続可能な社会づくりに取り組めます。

<行動指針>

- (1) 節電と省エネルギー化に努め、二酸化炭素排出量を削減します。
- (2) 廃棄物の削減及び再資源化に取り組めます。
- (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
- (4) 化学物質使用量の削減と適正管理に努めます。
- (5) グリーン購入、グリーン調達に取り組めます。
- (6) 生産の効率化に取り組み、環境配慮に努めます。
- (7) 環境関連法規及び、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

制定日：2011年 9月 1日

株式会社 テクノ月星

代表取締役 井上定男

4. 環境目標

環境目標 (単位)	基準値 2010年度	当年(2015年)度 目標値	2016年度 目標値	2017年度 目標値
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂ /百万円)	1,515	1,439 5%削減	1,424 6%削減	1,409 7%削減
電力使用量の削減 (kwh/百万円)	1,316	1,248 5%削減	1,237 6%削減	1,224 7%削減
A 重油使用量の削減 (ℓ/百万円)	358	340 5%削減	337 6%削減	333 7%削減
ガソリン使用量の削減 (ℓ/百万円)	7.00	6.65 5%削減	6.58 6%削減	6.51 7%削減
灯油使用量の削減 (ℓ/百万円)	13.61	12.93 5%削減	12.79 6%削減	12.66 7%削減
廃棄物排出量の削減 (kg/百万円)	167	158 5%削減	157 6%削減	155 7%削減
水使用量の削減 (m ³ /百万円)	137	130 5%削減	129 6%削減	127 7%削減
化学物質の適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理
グリーン購入/調達	— 6件	前年より1件増	前年より1件増	前年より1件増
生産効率化の取組み (化成品工場) (円/hr)	6,422	6,743 5%アップ ^o	6,807 6%アップ ^o	6,872 7%アップ ^o

二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.369Kg-Co₂/kwh(H21年度九州電力)を使用しました
※単位は生産金額当り

5. 環境活動計画

(1) 二酸化炭素排出量の削減 目標: 基準年比 5%以上削減(単位生産金額当り)

取組目標	活動項目
電気使用量の 5%削減	・未使用エリアの消灯及び空調の停止
	・省エネ機器への更新
	・空調室外機の熱交換器フィン洗浄
重油使用量の 5%削減	・蒸気コントロール装置の設置
ガソリン使用量の 5%削減	・アイドリングストップ、エコ運転の実施
灯油使用量の 5%削減	・押し出し機の電源入れ時間見直し、押し出し作業時間/工程の検討

(2) 廃棄物排出量の削減 目標: 基準年比 5%以上削減(単位生産金額当り)

取組目標	活動項目
不良品発生率 5%削減	・品質教育、個別の目標管理、設備保全
廃却ゴムの 5%削減	・押し出し: 廃却内容の分析、製造方法見直し
	・ラッピング: 貼付厚み・長さ管理、研磨代見直し、ゴム横流れ押え改善

(3) 水使用量の削減 目標: 基準年比 5%以上削減(単位生産金額当り)

取組目標	活動項目
節水活動の推進	・ボイラー給水量削減
	・給水管の点検
	・冷却水の水量の見直し

(4) 化学物質の適正管理

取組目標	活動項目
使用量管理の徹底	・品種ごとの使用量、在庫量の把握
	・目で見る管理の推進

(5) グリーン購入・調達

取組目標	活動項目
購入/調達の推進	・事務用品のグリーン購入推進
	・原材料の見直しと客先への提案

(6) 生産効率化の取組み

取組目標	活動項目
生産性向上取組みの推進	・化成品: 生産の平準化、最適人員配置
	・工業用品ラッピング: スリーブの手直し内容をデータ分析し、随時改善に取組み、製造方法を検討する

6. 環境目標の実績

環境目標項目 (単位)	当年度(2015年) 年間目標値	当年度(2015年)		
		実績値	達成率%	判定
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂ /百万円)	1,439 5%削減	1,348	107%	達成
電力使用量の削減 (kwh/百万円)	1,248 5%削減	1,053	119%	達成
A 重油使用量の削減 (ℓ/百万円)	340 5%削減	326	104%	達成
ガソリン使用量の削減 (ℓ/百万円)	6.65 5%削減	5.68	117%	達成
灯油使用量の削減 (ℓ/百万円)	12.93 5%削減	11.28	115%	達成
廃棄物排出量の削減 (kg/百万円)	158 5%削減	134	118%	達成
水使用量の削減 (m ³ /百万円)	130 5%削減	113	115%	達成
化学物質の適正管理	適正管理	適正管理	—	達成
グリーン購入/調達	年間1件以上増	2件増	100%	達成
生産効率化の取組み 化成品(円/hr)	6,743 5%アップ	7,828	116%	達成

二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.369Kg-Co2/kwh(2009年度九州電力)を使用しました
※単位は生産金額当り

過去3年間の環境負荷推移

**当社の二酸化炭素排出量は電力と重油で94.3%(2015年度実績)を占めている。

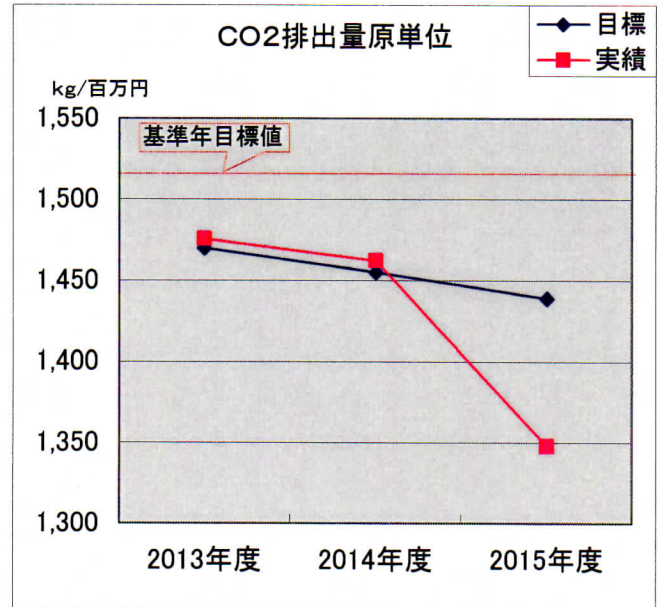
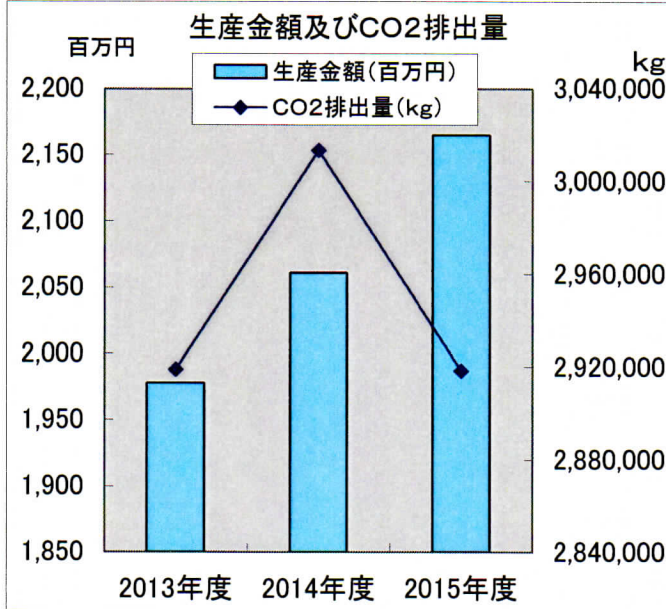
生産金額及び二酸化炭素(CO2)排出量

	2013年度	2014年度	2015年度
生産金額(百万円)	1,978	2,061	2,165
CO2排出量(kg)	2,919,109	3,013,526	2,918,540

CO2排出量原単位

(kg/百万円)

基準年目標 (2010年)	2013年度	2014年度	2015年度
目標	1,470	1,455	1,439
実績	1,476	1,462	1,348



評価: 2015年度は生産金額は増加したがCO2排出量は減少し、原単位も大きく改善された。これはCO2排出量の65%を占める重油の使用量が減少したことが大きく影響している。原単位で設定した目標も達成できた。

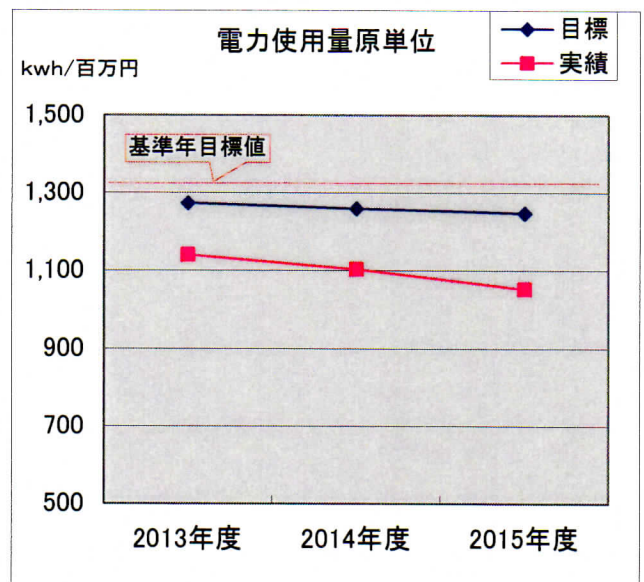
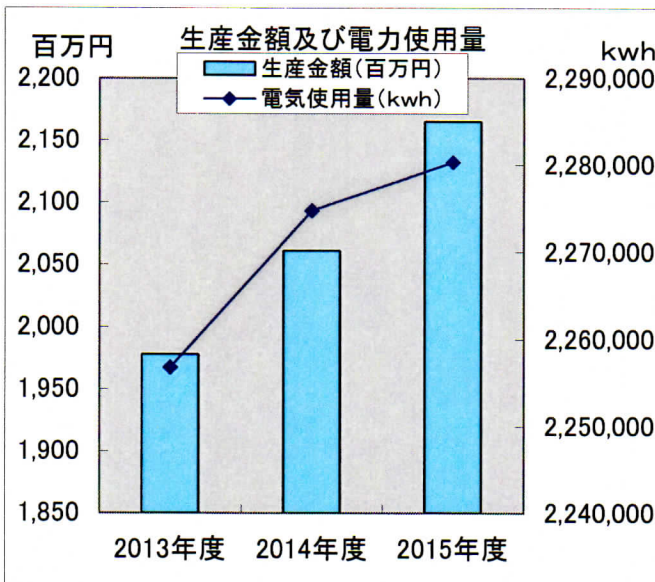
生産金額及び電力使用量

	2013年度	2014年度	2015年度
生産金額(百万円)	1,978	2,061	2,165
電気使用量(kwh)	2,256,796	2,274,768	2,280,312

電力使用量原単位

(kwh/百万円)

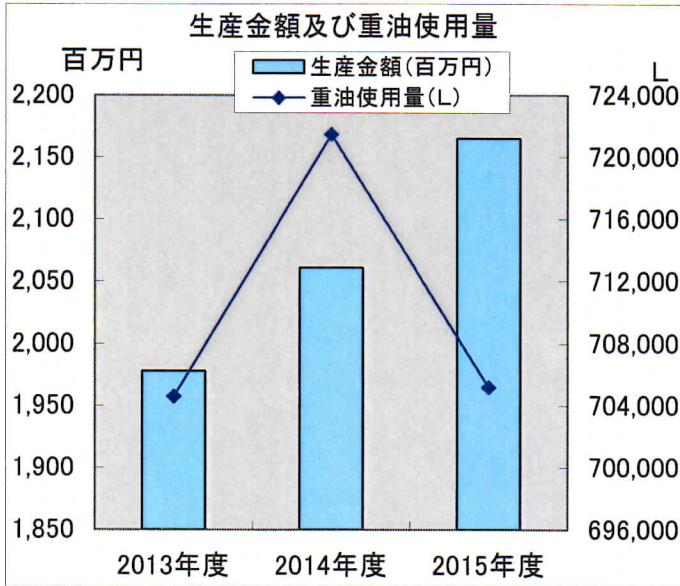
基準年目標 (2010年)	2013年度	2014年度	2015年度
目標	1,274	1,260	1,248
実績	1,141	1,104	1,053



評価: 生産金額の伸びに伴って電力使用量も増えているが、原単位は年々改善され目標は達成されている。これは設備更新時の省エネ機器導入などによるところもあるが、生産金額の増加も原単位に影響している。

生産金額及び重油使用量

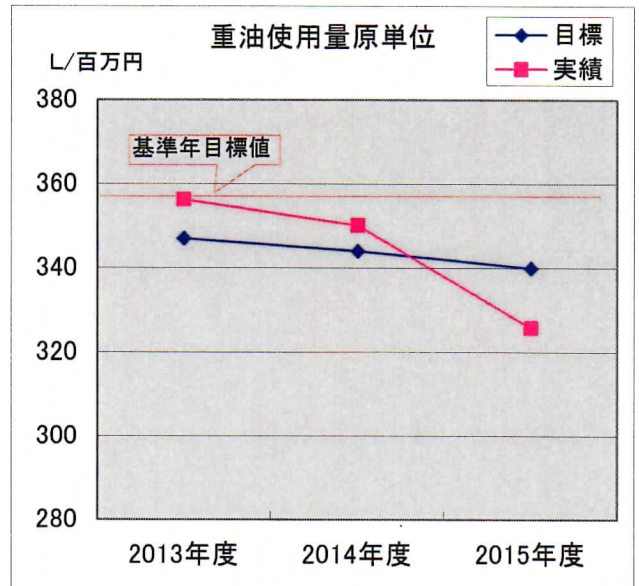
	2013年度	2014年度	2015年度
生産金額(百万円)	1,978	2,061	2,165
重油使用量(L)	704,600	721,500	705,200



重油使用量原単位

(L/百万円)

基準年目標 (2010年)		2013年度	2014年度	2015年度
目標		347	344	340
実績		356	350	326



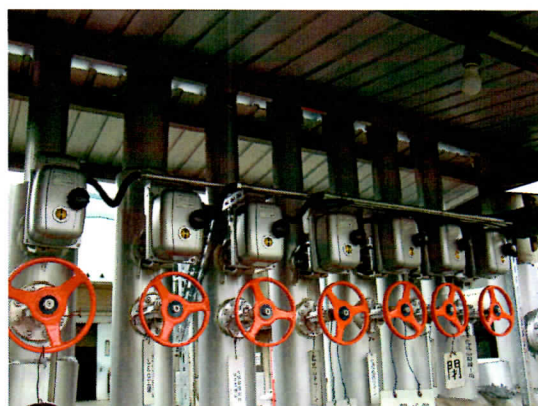
評価: 2015年度は生産金額は増加したが重油使用量は減少した。これは前年度の冬期が気温が低く連続加硫が多かったことなどで使用量が増加したが、今期の冬期は1月下旬に大きな寒波はあったが暖冬で推移し、連続加硫も減少、またボイラー稼動を更新済み高効率ボイラーを中心に行ったことなどが影響したと分析。



7. 環境活動計画の取組結果と評価

(1) 二酸化炭素排出量の削減 目標: 基準年比 5%以上削減(単位生産金額当り)

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
電気使用量の5%削減	○	未使用エリアの消灯	○	未使用エリアや昼休みの消灯、設備・機器の更新時に省エネタイプの選定、また空調室外機の熱交換器フィン洗浄などを行い目標達成。
		省エネ機器への更新	○	
		空調室外機のフィン洗浄	○	
重油使用量の5%削減	○	蒸気コントロール装置の設置	○	連続加硫減や高効率ボイラー稼働率アップ等で目標達成。蒸気コントロール装置は期末に設置。
ガソリン使用量5%削減	○	アイドリングストップ等のエコ運転の実施	○	社用車使用時のエコ運転も定着し目標達成。
灯油使用量の5%削減	○	押出しの作業時間、作業工程の検討	○	押出しの作業時間や工程などを検討、また押出し機(CV2)の時季による点火時間を変更を更に細分化し目標達成。
		押出し機起動時間見直し	○	



蒸気コントロール
装置の導入

(2) 廃棄物排出量の削減 目標: 基準年比 5%以上削減(単位生産金額当り)

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
不良損失率5%削減	○	改善活動の取組み、品質教育、個別の目標管理	○	主要品種で不良損失計上するも個別対策が奏効、改善が進み全体で目標達成。
廃却ゴム率5%削減	○	廃却内容分析、貼付厚み管理、研磨代見直し	○	押出しで小ロット生産増のため品種切替えが増え廃却ゴム率が微増したが目標は達成。

(3) 水使用量の削減 目標: 基準年比 5%以上削減(単位生産金額当り)

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
節水活動の推進	○	バルブの吐出量調整	○	1月の寒波により給水管の劣化で弱い部分が数ヶ所破裂し1月は未達となったが通年では削減目標達成。給水管の補修は進んだ。
		給水管の点検	○	
		冷却水等の水量見直し	○	

(4) 化学物質の適正管理

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
使用量管理の徹底	○	使用量と在庫量の把握 目で見える管理の推進	○ ○	適切に管理されている。

(5) グリーン購入・調達

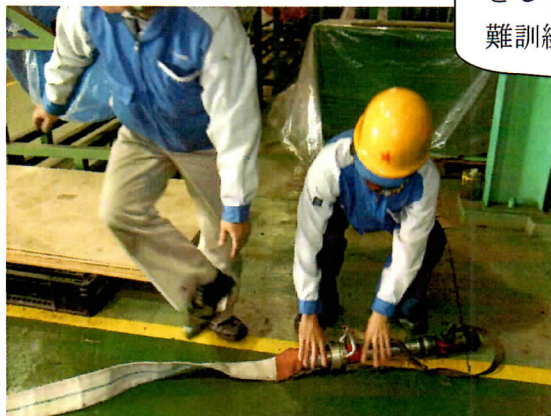
取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
購入 / 調達の推進	○	事務用品、OA 機器見直し 原材料見直しと客先提案	○ ○	グリーン購入、グリーン調達各1件ずつの実施で目標達成。

(6) 生産効率化の取組み

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	評価
生産性向上取組の推進	○	生産の平準化、改善活動 加硫前検査、製造方法確立	○ ○	今期は受注増で生産の平準化に取組みやすい状況でもあり目標達成。

その他の活動

化成品第3工場、消火避難訓練



環境上の緊急事態の訓練として、年に2回の消火避難訓練を実施



危険物屋内貯蔵所、溶剤流出防止訓練



環境上の緊急事態の訓練として、有機溶剤の流出を想定し屋内危険物貯蔵所にて訓練を実施



8. 来年度(2016年7月～2017年6月)の環境活動取組みの計画

環境目標	活動計画
二酸化炭素排出量の削減 (電力使用量の削減) (A 重油使用量の削減) (ガソリン使用量の削減) (灯油使用量の削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未使用エリアの消灯及び空調の停止 ・ 省エネ機器への設備更新を推進する ・ 空調室外機熱交換機フィン洗浄 ・ ボイラーの高効率型への更新 ・ 社用車のハイブリッド車への更新 ・ エコ運転の実施 ・ 押出し作業時間の検討 ・ 押出し作業工程の検討 ・ 押出し機CV—2電源入れ時間見直し(時期対応)
廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空ドラム缶再利用 ・ 作業指導、品質教育による不良削減の推進 ・ 個別の目標管理による不良削減の推進 ・ 設備保全による不良削減の推進 ・ 押出品の材料ロスの管理、廃却内容を分析 ・ ラッピング貼付厚・長さ管理、研磨代見直しによる廃却ゴム削減 ・ ラッピングゴム横流れ押え改善による廃却ゴム削減 ・ 練り生地管理、口金管理による不良率低減 ・ 材料切替え時の押出機内管理による不良率低減
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボイラー給水量の削減 ・ 給水管の点検 ・ 冷却水の水量見直しの検討
化学物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品種毎の使用量・在庫量の把握 ・ 目で見る管理の推進
グリーン購入/調達	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務用品のグリーン化推進 ・ 原材料の見直しと客先への提案
生産効率化の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課員の力量アップ ・ 無駄の削減 ・ 加硫前検査の徹底・製造方法の確立 ・ 構造物の作業手順改善

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りである。

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)	遵守状況
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、木くず、廃油)	適
騒音規制法	コンプレッサー、合成樹脂射出成型機	適
振動規制法	コンプレッサー、合成樹脂射出成型機、ゴム練りロール機	適
水質汚濁防止法	特定施設: 直接加硫缶、重油貯蔵施設	適
大気汚染防止法	ボイラー	適
悪臭防止法	キシレン、MIBK	適
容器包装リサイクル法	「まな板」の包装資材	適
工場立地法	9,000 m ² 以上の工場敷地	適
消防法	危険物施設、火災報知器、消火設備、指定可燃物貯蔵庫	適
化管法	第1種指定化学物質(トルエン、キシレン、チウラム、N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド)	適
毒物及び劇物取締法	毒物、劇物、特定毒物(トルエン、キシレン)	適
下水道法	50 m ³ /日以上を排出する事業場	適
フロン排出抑制法	冷媒としてフロン使用の業務用機器	適
土壤汚染対策法	水濁法特定施設工場跡地 ※2013年6月(財)福岡県すこやか健康事業団による第1種特定有害物質11種(塩素系有機溶剤等)、第3種特定有害物質(チウラム)の土壤調査実施。工場内13地点の土壤ガス調査、表層土壤調査の結果何れの物質も検出なし。	適
特定工場における公害防止組織の整備に関する法	水質汚濁防止法の汚水等排出施設(直接加硫缶)に対する公害防止管理者(水質)選任	適
労働安全衛生法	有機溶剤(有規則)、特定化学物質(特化則)、小型貫流ボイラー及び第1、第2種圧力容器(ボイラー則)	適

2016年6月に上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境経営システムは引き続き有効に機能しており、事務局及び各事業部での取組みも定着してきた。

前年度悪化したA重油使用量に関しては、大量に蒸気を消費する商品が通常年並みに戻ったこと、冬場の寒波も平年並みであったことから、特殊要因が無くなり、省エネ・生産効率向上の取組みの成果が表れて目標達成することができた。

よって、環境方針や環境経営システム等は変更せず、引続き継続して環境活動に取り組んで頂きたい。

